

電気料金が高騰する中 家計にやさしい冬の節約術

国際情勢など遠くの出来事と思われがちですが、そうではありません。皆様も最近電気料金が高いと感じていらっしゃると思いますが、電気料金がこの1年半ほどで45%も上昇しており、家計にも影響を与えています。また、地球温暖化による気候危機が深刻さを増しています。世界各地では、熱波や大雨、水害、干ばつ、大規模な山火事などの異常気象や気象災害が頻繁に発生しています。地球温暖化はCO2などの温室効果ガスが原因です。省エネに取り組むことは、CO2の排出量を減らすことにつながり、地球温暖化対策には必要不可欠です。

それでは、電力を減らすにスポットをあてて、これから迎える冬に活躍する暖房機器を中心に、家計にやさしい暮らしのコツをご紹介します。

*まずは扇風機（サーキュレーター）です。冬に扇風機？と疑問に思われることでしょう。エアコンで部屋を暖めると暖かい空気が対流で上に行くために足元が寒くなってしまうことがあります。このため同時に扇風機を天井に向けて使用することで暖かい空気が下に降りてきて、足元まで暖かさが広がるのでエアコンの温度設定を1°C下げてみましょう。1°C設定温度を下げることで、年間の電気代が1,736円お得になるという試算があります。また、冬の暖房時に外に熱が逃げていくのは、6割近くが窓からです。そこで厚手で長いカーテンをつけることで空気が冷えにくくなります。国では、ペアガラスを推奨しています。

*電気カーペット、コタツを使用する場合は、カーペットの下に断熱マットを敷くことで熱が床側に逃げないので効率よく暖めることができます。

*冬の間は、冷蔵庫の設定温度を弱にすると意識せずに節電できます。

他にも色々な節約術があります。皆様もそれぞれ工夫してみましょう。

お風呂は、ご家族集中して短時間で入浴をすませるとか、新しく電化製品を買い替える際は、省エネタイプを選ぶとか、楽しみながら節約してみましょう。

一人一人の心がけで、地球温暖化対策の一旦を担っていることに繋がります。

国ではNISAを推奨しているが、保険でも投資できる。

国では、積立NISAを推奨していますが、生命保険会社でも取り扱っている変額保険という保険は、皆さまご存知でしょうか？積立NISAとかiDeCoのように長期の定額積立投資（ドルコスト平均法）をして老後の資産形成だったり、もしもの時の補償だったりと幅広い安心を提供しています。

保険会社ごと、商品によって内容は違うものの、主だった保障内容は死亡保険だったり、3大疾病保障保険だったり、年金だったりと様々ですが、運用者ご本人のニーズにあった保障内容をお選び頂いて投資することができます。

編集長の独り言 論語に学ぶ第三談

いつも「口だけ」と言われてしまう。

「子曰く。先ず行う。その言や、しかるのちにこれに従う。」

【現代語訳】

先生は言われた。まずは行動しなさい。言葉は後からついてくるのだから。

目標と行動は、常にセットです。宣言してから実際に行動すれば「有言実行」ですが、

いつまでも行動に起こさなければ「有限不実行」でしかありません。そんな「有言不実行」の人は次第に「どうせ口だけ」、「やらないくせに」と周囲の信頼を失ってしまうかもしれません。

まずは行動する。その一歩があなたを大きく成長させると孔子は語っています。

《取扱代理店》



株式会社 リスクトランス

〒700-0941 岡山県岡山市北区青江1-7-15 営業時間 平日9時~18時

Tel.086-235-1110 Fax.086-235-1120

作成日:2023.11.1

このチラシは概要説明したものです。詳しい内容につきましては、取扱代理店までお問合せください。



（引受保険会社）
損害保険ジャパン株式会社
SOMPOひまわり生命株式会社
第一生命株式会社
メットライフ生命株式会社